

経営比較分析表（令和4年度決算）

徳島県三好市 三野病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	ドI 訓	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中級病院	看護配置
23,530	5,537	第2種該当	-	15：1

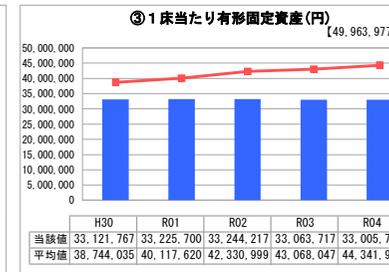
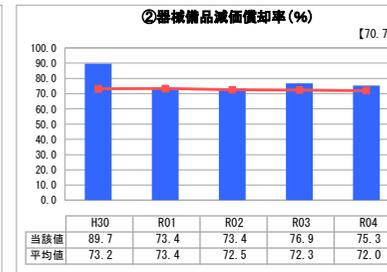
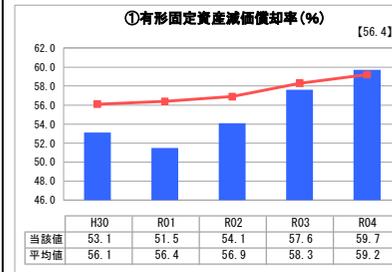
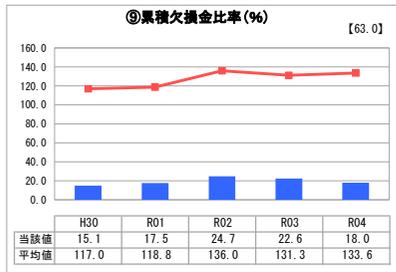
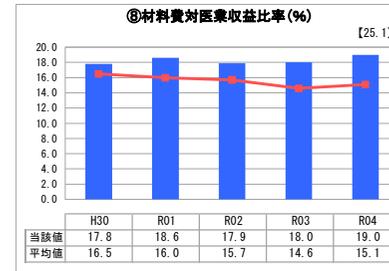
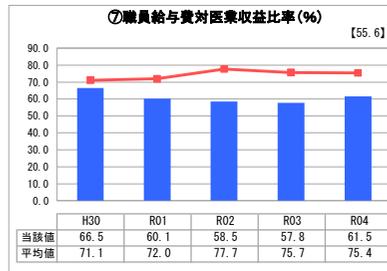
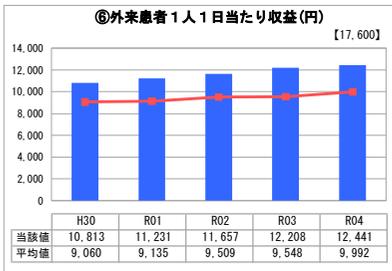
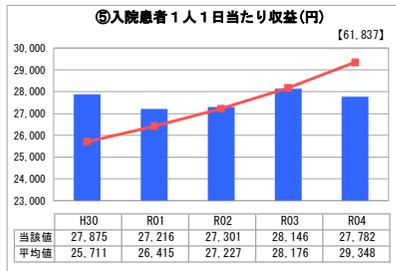
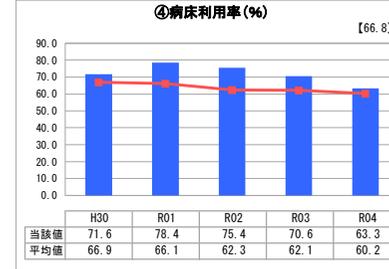
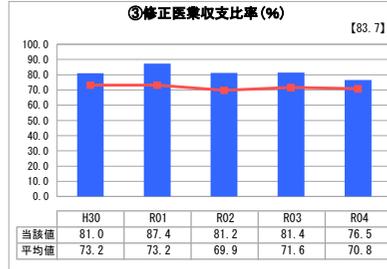
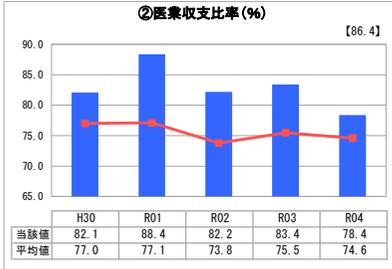
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
49	-	49

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ① 救急告示（二次救急）病院として、365日受入態勢を整えて対応。
- ② 災害支援病院、徳島DMAT（災害派遣チーム）としての災害対応への役割。
- ③ リウマチ・膠原病医育成の拠点施設。
- ④ 卒後臨床研修医受入三群病院としての役割。
- ⑤ 地域包括ケアシステムの中心的な役割。
- ⑥ 採算をとることが困難な健診や公衆衛生活動。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受け病床利用率の減少や病床利用率の落ち込みから医業収支比率、修正医業収支比率ともに低下し、職員給与費や材料費が増加する傾向にあるが、新型コロナ関連補助金や他会計繰入金を受け入れにより経常収支比率は100%を超えることができた。今後についてはリハビリ分野を生かした入院患者の受入増加や単価の向上、また経費の抑制等により経営改善に努める。

2. 老朽化の状況について

建物については平成18年、23年度に改築工事が完了し当面の改築の必要性はないが、空調設備の修繕が増えてきていることや照明のLED化、また、医療機器については大規模な更新を見据えながら計画的に進めていく必要がある。

全体総括

令和4年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受け入院収益を中心に伸び悩んだが、新型コロナの病床確保料や他会計繰入金の受け入れにより経常収支比率は前年度に引き続き100%を超えることができた。今後においては新型コロナウイルスの影響も収まりつつあることから、令和5年度に策定する経営強化プランの内容に基づき、徳島県西部圏域における当院の役割を理解しながら更なる経営改善に努め、地域に必要とされる医療需要に応じていく。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。